

常任委員会所管事務調査の取組状況報告

■ 総務安全委員会

調査研究事項	路上喫煙の防止について
取組状況等	桑名市路上喫煙の防止に関する条例の施行から7年が経過したが、市内では依然として路上喫煙や吸い殻等のポイ捨てが見受けられる状況にあり、生活環境や景観の悪化、望まない受動喫煙、やけどなどへの懸念が課題となっている。 今後、この課題に対する効果的な提言ができるよう、桑名市路上喫煙の防止に関する条例の周知、喫煙マナーの啓発、路上喫煙禁止区域における対策の強化の視点から、現状の課題や今後の在り方について、参考となる具体的な内容を整理する。

■ 教育福祉委員会

調査研究事項	保育人材の確保について
取組状況等	保育人材は、子どもの健やかな成長を支え、質の高い保育サービスを安定的に提供する上で必要不可欠な存在である。近年、少子化が進行する一方で、保育ニーズの多様化や子育て支援の充実が求められており、保育現場を支える人材の確保が全国的な課題となっている。 今後、この課題に対する効果的な提言ができるよう、保育士等の子どもを対象とする保育施設の優先利用、保育士養成施設との連携強化、事業効果の検証体制及び情報発信の充実の視点から、現状の課題や今後の在り方について、参考となる具体的な内容を整理する。

■ 都市経済委員会

調査研究事項	トイレの整備について
取組状況等	公園や駅前などのトイレは、市民や桑名市を訪れた人にとって、利用する可能性の高い公共の設備であり、地域の衛生環境、安全・安心、観光振興を支える重要な社会インフラの一つであるが、現状として、老朽化の進行や衛生面、防犯面等における様々な課題が見受けられる。 今後、この課題に対する効果的な提言ができるよう、公共トイレ管理計画の策定、快適なトイレ環境の整備及び維持に向けた取組の視点から、現状の課題や今後の在り方について、参考となる具体的な内容を整理する。